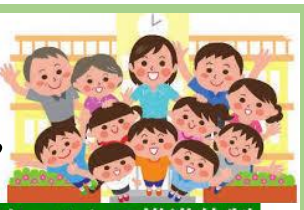
加須市

コミュニティ・スクール

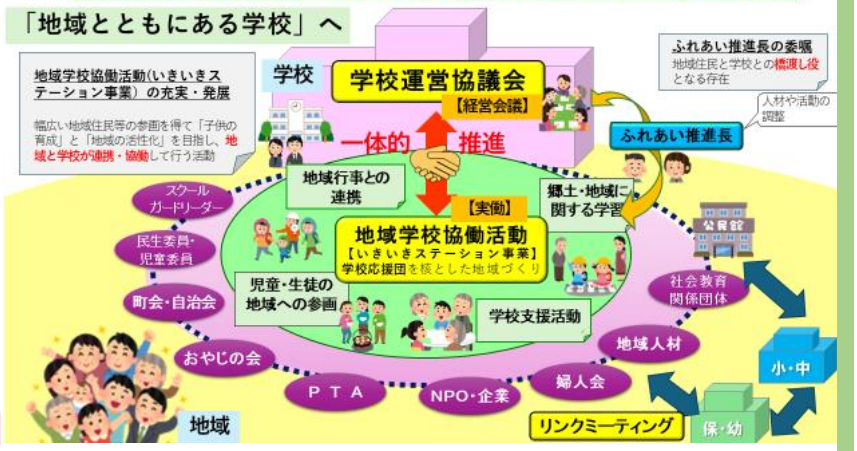
「地域とともにある学校づくり」



コミュニティ・スクールとは・・・

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。
学校運営協議会には、地域住民や保護者、学校の先生などが集まり、育てたいこども像を共有します。そのために何ができるのかを話し合う組織です。
地域住民、保護者等が学校運営に参画することにより、学校運営の改善と児童生徒の健全育成に取り組みます。

加須市における「コミュニティ・スクール」の推進体制



加須市では、こどもたちの学びを豊かにするため、地域・家庭・学校が協働してこどもたちを育てる『地域とともにある学校』を目指して、これまでの学校評議員制度に代わって、令和７年度から市立全小・中学校で学校運営協議会を導入します。
今年度は、加須小学校、三俣小学校、加須南小学校、昭和中学校で、学校運営協議会を先行実施し、検証を行っているところです。

CHECK! 具体的にどんなことを話し合っているの？

例えば①・・・校長が策定する基本的な学校経営方針を承認します。

校長先生：本校の教育目標は、「力いっぱい学びたくましく生きる」です。そのため、今年は特に〇〇に重点を置いて取り組んでまいります。何かご意見ありますか。

委員：□□に注力していただくと、なお良いと思います。本校の実態に合った素晴らしい目標だと思います。一緒に頑張りましょう。

この承認は、OK ではなく、「Let’s」（みんなで一緒にやりましょう）です。

例えば②・・・学校運営に関する課題について、協議会でできることを話し合います。

先生たち：今年は、本格的に**まち探検**をやりたいけど、地域の人と交流できるといいなあ。

委員：インタビューをしたいなら、商店街に声掛けしてみますよ。

例えば③・・・地域からのご意見・・・。

地域の方：「一人暮らしのお年寄り」を助けるためにボランティアがほしいです。中学生に協力してもらえるかな。

・・・等々、学校課題だけでなく、**家庭や地域の方から上がってきた意見についても協議会で取り上げて話し合います。**地域・家庭・学校、それぞれが互いを理解し、手を取り合い、みんなで一緒に子育てを行います。

CHECK! コミュニティ・スクールＱ＆Ａ

Ｑ１　なぜ、コミュニティ・スクールにする必要があるのですか？
Ａ１　現在も学校は、学校評議員、ＰＴＡ、学校応援団等、地域や保護者の皆様に、たくさんのご協力をいただいているところです。コミュニティ・スクールは、こどもたちが抱える多様化した課題の解決、未来を担うこどもたちの豊かな成長のために、学校と地域が今まで以上に連携し、こどもたちを育てるための仕組みとして全国的に導入が進んでいます。

Ｑ２　学校評議員や学校応援団はなくなるのですか？
Ａ２　学校評議員が行っていたことは、学校運営協議会の役割の中に含まれるため、学校運営協議会を設置した学校では学校評議員はなくなります。学校応援団、ＰＴＡ、ふれあい推進長、おやじの会等の組織は現在と同様ですが、今後はそれらの組織の代表が学校運営協議会に参加するなど、各組織間のつながりを強め、より効果的な学校の支援を検討していくこととなります。

【発行】加須市教育委員会学校教育課 TEL0480-62-1111（代表）